

1. 評価結果概要表

作成日 平成19年8月21日

【評価実施概要】

事業所番号	0170501639		
法人名	有限会社 ケア・ハート		
事業所名	グループホーム あかしあ		
所在地	北海道札幌市中の島2条7丁目3番15号 ル・パルク中の島 3階 (電話) 011-816-8338		
評価機関名	タンジント株式会社		
所在地	北海道旭川市緑が丘東1条3丁目1-6 旭川リサーチセンター内		
訪問調査日	平成19年8月20日	評価確定日	平成19年8月30日

【情報提供票より】(平成19年8月1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成)14年7月1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	17 人	常勤 17人, 非常勤 人, 常勤換算 17人	

(2) 建物概要

建物構造	鉄筋コンクリート 造り		
	5 階建ての 3 ~ 4 階部分		

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	35,000 円	その他の経費(月額)	7,000 円
敷金	(有) 35,000 円) 無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円) (無)	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	300 円	昼食 400 円
	夕食	500 円	おやつ 100 円
	または1日当たり 1,300 円		

(4) 利用者の概要(8月1日現在)

利用者人数	18 名	男性 3 名	女性 15 名
要介護1	6 名	要介護2	8 名
要介護3	3 名	要介護4	
要介護5	1 名	要支援2	
年齢	平均 80.8 歳	最低 54 歳	最高 91 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	旭町医院・きよみず公園クリニック・みどりの街診療所 羊が丘病院・日之出歯科真駒内診療所
---------	--

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

最寄の地下鉄駅より徒歩15分と交通の利便性に優れ、ホームの前には遊歩道を備えた公園が有り環境と立地条件に恵まれたグループホームである。また、管理者・職員は自己評価チェックシートで改善点を見出してケアサービスの質の向上に取り組み熱意が伝わってきた。利用者の「その人らしい生活」を支え一人ひとりの思いや意向を大切に日常生活の中で散歩や買物で金銭を使う場面を見出したり喫茶店やファーストフードに出かけるなど外出の機会を多くつくり気分転換や趣味を活かせる支援がされている。家族会や運営推進会議の開催などで意見や要望など話し合う機会を設けてそれらを活かす取り組みもされている。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4) 前回評価では緊急時の対応について改善点としてあげられていましたが、全ての職員が緊急時に速やかに対応できるように実技を伴う火災避難訓練もすでに実施され救急救命訓練も消防の協力を得て実施される計画がされています。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 事業者・管理者・職員は評価の意義を理解して、従前より自己評価チェックシートを作成して改善点を自ら見出しケアサービスの質の向上に利用されています。また、外部評価の結果については運営推進会議で報告され改善の機会として取り組まれています。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6) 運営推進会議は、評価日現在2回実施されています。第2回目の議題は家族会について 日常生活の様子、流れについて 行事参加の報告、改善点について 介護保険の現状について その他意見・要望について
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8) 「あかしあ便り」を毎月発行や写真など送付して利用者の日常の暮らしぶりやホーム行事参加の様子など日頃より家族との関係を大事にして、意見や不安などが言いやすい雰囲気づくりをしています。また、家族会や運営推進会議に於いて家族・地域の代表などとの意見交換でそれらを運営に反映される取り組みがされています。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 町内会の役員で、利用者が参加できる行事や地域の活動には積極的に参加している。また、「あかしあ便り」を町内会に回覧してホームの活動の内容や認知症に対する理解や広報に取り組んでいると共に運営推進会議や日常生活を通じて地域の人々との交流が行われています。

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	ホーム独自の運営理念とケア理念をもとに、日常生活の中で利用者がその人らしく暮らし続けることを支えるサービスとして職員間で共有されている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者、職員は理念の重要性を認識して日々取り組んでいる。	○	運営理念、ケア理念を達成するために具体的な個々の目標を掲げその達成度について共有する取り組みが検討されている。
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内会の役員であり、利用者が参加できる行事や地域の活動にも積極的に参加して、地元の人々との交流に努めている。	○	「あかしあ便り」を町内会に回覧して、ホームの活動内容や認知症に対する理解や広報に取り組んでいる。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	従前より管理者、職員は自己評価チェックシートを作成して、改善点を見出しそれらを活かす取り組みがされている。また、外部評価結果についても運営推進会議に報告され具体的な改善に取り組んでいる。		

外部評価	自己評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議については評価日現在2回開催されている。メンバーは利用者、家族、地域の住民代表、知見を有する有識者、法人代表者及び管理者・職員で構成されケアサービスの質に向上に具体的に取り組んでいる。		
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	管理者は市との連携の重要性について理解している。	○	今後は、更なる職員のスキルアップと市との連携を「出前講座」などを通じて市担当者と共にケアサービスの質の向上に取り組む計画がされています。
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	「あかしあ便り」や写真の送付などで利用者の日常の暮らしぶりや健康状態をそれぞれの家族にこまめに情報提供して信頼関係が構築されている。また、状態変化については都度電話連絡などで詳細に報告している。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族会や運営推進会議で家族の意見や要望を聞く機会を作ったり、来訪時には気軽に話せる雰囲気づくりに取り組んだりして環境整備に心掛けそれらを運営に反映させている。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	共用空間で全スタッフの紹介を掲示するなど家族にきめ細かな情報提供をしている。また、管理者は職員の移動などで利用者に影響を与えないように配慮する取り組みをしている。		

外部評価	自己評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部研修参加を積極的に奨励して、参加者の報告会でフォローアップされたり、申送りなどで職場内研修やOJTの実施がされ職員を育てる取り組みがされている。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム協議会への参加や同一法人の他ホームとの交流が行われたり、火災避難訓練などの緊急時の対応を同業者と共同で開催している。	○	今後は、他施設との相互訪問など交流を促進していく計画がされている。
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居前には、利用者・家族の見学などで不安を解消する取り組みや、場の雰囲気に馴染めるよう相談しながら工夫している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員も利用者と一緒に食事の準備をしたり、センター方式を利用して利用者の過去の大事な出来事や生活歴を家族と共に協力しながら把握して、本人の気持ちになった支えあう関係を築いている。		

外部評価	自己評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	散歩や買い物、喫茶店やファーストフードへ出かけたり積極的に外出の機会を多く作ったり食事の準備、食の嗜好の把握など本人の希望や意向を尊重した取り組みがされている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	介護計画は、センター方式を元に作成されており、利用者、家族の希望や医師からの助言・情報や職員からの意見を取り入れ具体的な介護計画となっている。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じた見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画書は、毎月評価を行い計画的に見直しが行われている。また、利用者・家族の要望や利用者の状態変化に応じて都度、現状に即した介護計画の見直しが行われている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	本人や家族の状況に応じて、通院の支援や要望のある場合には散歩や買い物など柔軟に支援を行っている。		

外部評価	自己評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○ かかりつけ医の受診支援 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。	利用者それぞれの主治医との連携で気軽に相談できる医師が確保されている。また、利用者、家族の希望や要望に応じて状態変化などについても往診など適切な医療が受けられるよう支援されている。		
19	47	○ 重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	医療機関と連携して利用者・家族とも段階的に繰り返し相談し合いながら慎重に検討対応するよう職員間で共有される取り組みがされている。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	○ プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者一人ひとりの尊厳やプライバシーを尊重した声かけや、記録等の個人情報の扱いについては、個人情報保護法に対応した配慮がされた取り組みが行われている。		
21	52	○ 日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	センター方式で個々の利用者の気持ちが把握され職員間で共有されている。また、一人ひとりの今の気持ちを尊重してスーパーでの買い物や食事の準備、雪かきの手伝いなど本人の希望やペースに沿って支援している。	○	今後は、センター方式をより充実させるべく取り組みが行われている。

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期 待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	職員と利用者が本人の希望や力量に応じて一緒になって楽しんで食事の準備をしている。また、職員も同じ食事を摂り和やかな雰囲気を出している。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴日は基本的に決めずに利用者の希望に応じて対応している。また、ゆっくりとくつろいで入浴が楽しめるように支援されている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	雪かき、裁縫や食事の準備、寿司などの外食や買い物、野外でのバーベキュー、心身のリフレッシュや気分転換のための動物園見学など外出の機会も多くつくられている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	ウィンドウショッピング、喫茶店訪問、スーパーやコンビニでの買い物、散歩、動物園見学、外食など気分転換や心身のリフレッシュができるように積極的に外出ができるように支援されている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	居室や玄関は、鍵をかけないケアに取り組んでいる。利用者が外出する時は、職員がついていき安全面で配慮されている。		

外部評価	自己評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけしている	緊急時に全ての職員が速やかに対応ができるように利用者と共に実技を伴う火災避難訓練が実施されている。	○	また、救急救命の訓練も消防署の協力を得て9月に実施される計画がされています。
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	具体的な食事摂取量が主食・副食毎に記録され、栄養バランスやカロリーについてもおおよそ把握され、栄養士の指導・アドバイスも受けて支援されている。		
2.その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	廊下や居間では、椅子やテーブルが配置され一人になったり利用者同士談笑できるスペースが確保され、配慮された工夫がされている。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室は、仏壇や使い慣れた家具などが持ち込まれ安心して過ごせる場となっていて一人ひとりの思いが伝わる空間作りとなっている。		

 は、重点項目。

WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。